

PAT-NO: JP359073334A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 59073334 A
TITLE: TAIL LIGHT APPARATUS
PUBN-DATE: April 25, 1984

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
SAITO, HIROSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
HONDA MOTOR CO LTD N/A

APPL-NO: JP57183291
APPL-DATE: October 19, 1982

INT-CL (IPC): B60Q001/30, B62J005/04
US-CL-CURRENT: 362/473, 362/478

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain shock resistance by installing an engagement boss for engaging a buffer ring fixed onto a rear fender in the lower part of a lamp cover and installing a fixing ring consisting of buffer members in the upper part of the lamp cover, in the longitudinal direction of a motorcycle.

CONSTITUTION: In order to fix a tail light apparatus onto a rear fender 5, a rear cowling 11 is lifted-up, and the engagement boss 3 of a lamp cover 2 is inserted into the buffer ring 7 on the rear fender 5, and a collar 9 is fitted onto a fixing ring 4 and fixed by bolts and nuts 10 and 8. Then, the cowling 11 is fixed onto the fender 5. Therefore, the buffer ring 7 or the

fixing ring

4 is always inserted between the lamp cover 2 and the rear fender 5, so even if

vibration or an external shock is applied, the apparatus withstands the shock

because of soft construction. Since fixation is performed only by bolts and

nuts, fabrication performance is superior.

COPYRIGHT: (C)1984,JPO&Japio

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59-73334

⑤ Int. Cl.³

B 60 Q 1/30

B 62 J 5/04

識別記号

庁内整理番号

6471-3K

6475-3D

⑬ 公開 昭和59年(1984)4月25日

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭ テールライト装置

東京都世田谷区成城2-2-15

⑮ 出 願 人 本田技研工業株式会社

東京都渋谷区神宮前6丁目27番
8号

⑯ 特 願 昭57-183291

⑰ 出 願 昭57(1982)10月19日

⑱ 発 明 者 齊藤 広

⑲ 代 理 人 弁理士 木戸伝一郎 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

テールライト装置

2. 特許請求の範囲

1. ランプを収納する枠部材の下部には、リアフェンダに固定した緩衝リングに嵌合させる係止ボスを下方に突出させ、上部には、リアカウルに固定する際に介装するカラーを嵌合させるための緩衝材から成る固定リングを車両前後方向に設けたことを特徴とするテールライト装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明はテールライト装置、特に二輪車、三輪車等に用いるテールライト装置に関するものである。

従来より後続車に位置を知らせたり、あるいは

ブレーキの作動を知らせる為にテールライト装置が用いられている。このテールライト装置は一般に、ランプとこのランプを内装し、ランプの保護と共に光の認識性向上を図つたカバーとから形成されている。そしてこのテールライト装置のシャシへの固定は、従来複数のボルトあるいはネジにより行なつていたので、複数個所をボルトあるいはビス等にて固定する為に、組立が複雑なだけでなく、交換等にも手間を要するものであつた。

そこで本発明は、これら前述の課題に鑑み為されたものであり、その目的は、製造及びメンテナンスが容易に行なえるだけでなく、振動あるいは外的衝撃にも強いテールライト装置を提供することにある。その特徴とするところは、ランプカバー下部には、リアフェンダに固定した緩衝リン

グに嵌合させる係止ボスを下方に突出させ、上部には、リアフェンダに固定する際に介装するカラーを嵌合させるための緩衝材から成る固定リングを車両前後方向に設けたことにある。

以下図示例と共に、本発明の一実施例を説明する。

第1図は二輪車を後方より見た図で、図の略中央にテールライト装置が示されている。

このテールライト装置は、ランプ1とこのランプ1を内装する枠部材であるカバー2とから形成されている。そしてこのカバー2は、その下部に係止ボス3を突出形成させ、上部ブラケット2aには緩衝材から成る固定リング4が車両前後方向に設けてある。

一方このテールライト装置を固定する二輪車の

次にこのテールライト装置のリアフェンダ5への固定を説明する。

まずリアカウル11を上方に持ち上げるか、外すかした後、カバー2の係止ボス3をリアフェンダ5の緩衝リング7中に嵌合させる。次いで固定リング4にカラー9を嵌合させ、このカラー9をボルト10にてナット8に固定するものである。その後、リアカウル11をリアフェンダ5に取り付けて固定が終了する。

本発明によると、ランプを内装したカバーとリアフェンダとの間には、緩衝リングあるいは固定リングが常に介装されているので、二輪車あるいはカバー等に振動あるいは外的衝撃が加わつても、両者の固定が柔固定であるが故に衝撃に対し強いものである。又固定が係止ボスの緩衝リングへの

リアフェンダ5は、その後部水平部5aに、前記カバー2の係止ボス3に対応する様な固定孔6が穿設され、この固定孔6には緩衝リング7が設けられている。又リアフェンダ5の後方上部5bには、ナット8が固定されており、このナット8にはカラー9を介してカバー2の固定リング4が嵌合し、これをボルト10にて締め付ける様になつている。

11はリアカウルであり、テールライト装置をリアフェンダ5に固定した後、上方から被せるものである。

なお上記実施例ではナット8をリアカウルの後端面をなすリアフェンダ5の後方上部5bに溶着等により固定したが、リアフェンダ5の後方上部5bに植込みボルトを設けて、ナットによつて固定してもよいことは勿論である。

差込みの外はボルトとナットの止めだけなので、従来の様にナットあるいはビス等で複数個所を固定する手段に比べて、はるかに組立あるいは取外し等が容易に行なえる。更に係止ボスによつて上下方向より係止し、ボルトとナットによつて車両前後方向に係止したので、振動により抜けることなく、保持性にも優れている。

また緩衝リング及び固定リングの材質は緩衝性があれば良く、ゴムあるいは軟質プラスチック樹脂等にて形成できる。

4. 図面の簡単な説明

図は本発明の一実施例を示すものであつて、第1図は二輪車を後部より見た図、第2図は本発明装置の分解斜視図、第3図は固定時を示す拡大断面図である。

1 はランプ、2 はカバー、3 は係止ボス、4 は
固定リング、5 はリアフェンダ、6 は固定孔、7
は緩衝リング、8 はナット、9 はカラー、10 は
ボルト、11 はリアカウルである。

特 許 出 願 人 本田技研工業株式会社

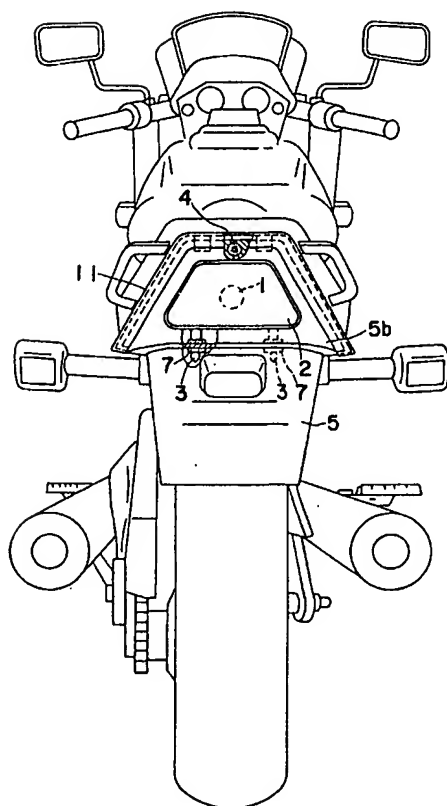
代 理 人 弁 理 士 木 戸 傳 一 郎

同 木 戸 一 彦

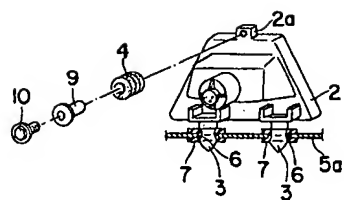
同 服 部 重 徳



第1図



第2図



第3図

